

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		職員のノーマイカー通勤の推進	ノーマイカー通勤の実施率を年度内目標で25%以上とする	○	○
ノーマイカー通勤による燃料消費抑制	○			○	○	○	○	○	○	○				
公用車運転時の燃料流出、火災			○	×	—	—	×	×	—					

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
ガソリン等の使用による化石燃料の消費、ガソリン車・ディーゼル車によるCO2、Nox大気汚染物質の拡散 ノーマイカー通勤を推進することによりガソリン消費量が抑制されると共に、大気汚染物質（NOX, SOX等）の発生を抑え、天然資源の枯渇化防止及び地球温暖化防止への有効な取組である。	ノーマイカー通勤の取組を年間を通じて実施率を25%以上にする		4月にマイカー通勤者の把握を行い、対象者について月ごとのノーマイカー通勤の実施率を課単位で人事課に報告する	年間平均実施率は24.3%（2月時点）となり、目標達成に向けて全庁的に取り組むことができた。	○	年間平均実施率は24.3%（3月末）実施率目標の25%を超える月が4か月あり、全庁的な取組み成果が見られた。	○

(環境ISO管理)

事業No. 36 事業名 職員研修事業

人事課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
環境意識の醸成	○			○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・各種研修を実施する中で地球環境や生活環境への影響及び歴史的・文化的遺産の保存を考える機会となる。	新規採用職員の環境に関する研修を 年間を通じて実施し 環境への意識付けを行う		5月に田植え体験、風の学舎での自然生活見学、7月及び12月に自動車運転講習によるエコ運転技術を実地研修する	5/16-17田植え等研修(参加者63名) 、10/4,10/15,11/21交通安全研修を実施(参加者60名)。	○	飯田市職員におけるハラスメントの防止に関する指針を定め、管理職マネジメント研修内容の充実及び全職員への周知に向けた準備を行った。	○

(環境ISO管理)

事業No. 37 事業名 健康管理事業

人事課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
職員の健康管理	○								○		労働安全衛生法	職員の健康診断及びストレスチェックは事業主の実施義務	○	○

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・法令順守に違反する。 ・職員の健康状態を把握し、法令に則った職員の健康管理が可能となる。	職員の健康診断を年間を通じて全職員に対して行う		定期健康診断、人間ドック、ストレスチェックの実施	ストレスチェック提出率93.3% 人間ドック、定期健康診断実施率85.1%(30.1時点)引き続き健康診断の受診勧奨を行う	○	人間ドック、定期健康診断実施率99.5%(3月末)高ストレス部署へのセルフケア研修を実施	○